



デモを呼びかける文化連盟・武田委員長（左）と完全無罪の増井君（右）

4.25



文化連盟の学生が申し入れ書を提出。受け取り拒否する総務部・浅野

封鎖ぶち破り法大生の怒り爆発！



総長室がある九段校舎ヘデモ！



多くの学生が道を埋めつくし集会に合流！キャンパス封鎖を実力で打ち破った！

学生の怒りで『封鎖』打ち破る！

法大生の皆さん！ 「4・25法大解放総決起集会」は、大学当局と警察による弾圧体制をうち破り、学生が怒りの火柱をあげる感動的な闘いとなりました！

当局は22日、法大生に「組織的業務妨害団体がデモを呼びかけているから外濠門を封鎖する」というメールを送付。しかし、文化連盟の弾劾と法大生の怒りに恐怖した当局は当日、封鎖を断念。外濠校舎前は数百人の法大生で占拠されました！

「文化連盟が押している！」（サークル員）

集会冒頭、文連委員長・武田雄飛丸君が「口先では『脱原発』『改憲反対』を叫ぶ一方で、法大生に『デモに出るな』と恫喝する田中優子総長をぶっ飛ばそう。ともにデモに出よう！」とアピール。さらに各大学の新入生が次々と「学祭を自由にやらせろ！」「学生管理強化反対！」「学生を弾圧する法政大学を絶対に許せない！」と発言。

続いて、文化連盟が法大当局に申し入れ書を提出。しかし法大当局はまたもや受け取りを拒否し、あげく警察に守られ逃げる始末。法大生の怒りは沸点に達し「もっと近くに行こう！」と押し寄せるように集結。「外においでよ」と友達に電話する法大生も。警察・当局は包囲され、弾圧は完全粉碎されました！

総長室デモに多くの法大生が参加！

13時半、「デモに出よう！」の訴えに応じて多くの法大生が続々と合流！「ビラを読んで来た」という女子学生グループはデモの終わりまで参加。「総長室に自分も行きます」と飛び入り参加した新入生は「これが公安警察か。許せない！」と怒

りを表明。サークル員も堂々とデモに合流しガッツポーズ。

総長室のある九段校舎では田中優子総長を徹底弾劾！文化連盟、首都圏・全国の学生が「法大を解放するぞ！」「処分を撤回しろ！」とデモコール。沿道からも「学生がんばれ」と熱い注目が集まり、解放感が満ち溢れるデモを貫徹しました。

ペテン師・田中優子総長を打倒しよう！

デモ終了後、武田君が「就任1ヶ月で田中総長の正体を完全に暴いた。『リベラル』を売りにして大学改革を『左』から補完する田中総長は、『グローバル人材の育成』を掲げて安倍政権の経済侵略に加担し、大学間競争に生き残るために学生を弾圧している。法大闘争は学生のみならず、99・9%の人々の闘いだ。全国の大学で闘いを拡大して、再び法大に集まろう！」と熱烈な呼びかけを發しました。

集会はツイキャスで同時配信され、8000を超える人々が注目。さらに、当日の集会の様子は「暴処法弾圧」で完全無罪を確定させた5人の学生たちの勝利と共に、4月29日発売の『ジャパントイムス』（発行部数7万部）が丸一面割いて大々的に報じました。法大闘争は新段階に突入しています。

闘いはいよいよこれから！

武田君への不当処分を撤回させ、田中優子総長を打倒しましょう！



「5人の学生は法廷で勝利した。だが、大学との闘いはこれからだ！」

闘いはこれから！次は、 沖縄大に学生自治会を！

法大集会に来てくれた沖大生から5月沖縄現地行動の呼びかけ（↓）が出されました！ 沖縄でも「口先では戦争反対、実際には安倍政権支持」という田中優子総長のようなペテン師が学長につき、学生運動を弾圧しています。しかし、ついにこの現実をひっくり返すべく、沖大生が立ち上がりました！ 日米安保と軍事基地に支配された沖縄からの学生決起は、世界を変える力を持っています。

文化連盟は沖大生の呼びかけに応え、沖縄に行きます！ 法大生の皆さんも一緒に沖縄に行きましょう！ 要綱は下記の通り。参加希望の方は文連メール（表面）かお近くの文化連盟まで御一報を！



●4・25法大集会に参加した沖縄大学2年生の5月沖縄闘争アピール

4・25法大集会に沖縄から参加しました！

当日は「逮捕でもなんでも来い」という覚悟で集会に臨みましたが、いざ始まってみると文化連盟のもとに多くの法大生が集まり、法大当局と公安警察は門の封鎖も、逮捕もできませんでした。

絶対反対で闘ってきた文化連盟と法大生の怒りによって法大当局の思惑は粉碎されたのです。

学生の団結した闘いはいかなる弾圧もうち破れるし、多くの学生が闘いを求めていることを実感しました。

『空飛ぶ棺おけ』＝オスプレイが沖縄に配備され、市街地上空を飛び回っている。



今、沖縄大学でも、激しい学生運動つぶしがおこなわれています。

私の所属する『沖大学生自治会復活会』が、基地建設や改憲・戦争に反対する講演会を企画したところ、沖大当局は教室貸し出しを拒否しました。

否しました。

他にも学生規則を密かに改悪し一切のビラ撒きを禁止してきたり、オリエンテーションで「（署名やビラ撒きには）対応しないように」と呼びかけています。

4月24日の日米首脳会談を経て、辺野古への米軍新基地建設が進められようとする今、沖大生が行動に立ち上がるのは当然じゃないですか！

10年前の基地建設強行を止めたのは紛れもなく労働者・学生の実力闘争です。（写真↑）

しかし基地建設阻止の闘いを「県外移設」＝「権力者への請願・取り引き」運動におとしめる仲地学長は沖大生の決起を憎悪し、学生運動をつぶしにきています。

当局のネガティブキャンペーンは激しいですが、4・25集会のように闘う核となる学生がいれば、どんな分断も打ち破れます。

キャンパスから5月沖縄闘争への大結集をつくり出し、沖大自治会を再建するために闘う決意です。

5月沖縄現地にて全国の学生を待っています！



05年、学生・労働者が海上ヤグラを占拠し、基地建設を実力で阻止。

辺野古新基地建設阻止！すべての基地と原発をなくそう！ 沖縄闘争2014

*参加者募集中です！

- 5月17日（土）戦跡めぐり、国際通りデモ、「復帰」42年5・15沖縄集会
- 18日（日）基地見学、県民大会、全国学生交流集会
- 19日（月）沖縄大生との交流など